様式２

令和７年度 （大磯高等学校） 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課　　題	目　　標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を高め、信用失墜行為を未然に防止する。	不祥事防止研修時にさまざまな職員からコメントをもらい。自分事として認識するとともに、日常から不祥事防止と法令順守の意識を高める言葉かけをお互いに行い、職員が自らの行動に対する責任を意識できた。
職場のハラスメントの防止	セクハラ、パワハラをはじめとする職場のハラスメントに対する理解を深め、未然に防止する。	職員との面談を実施し、職員が感じていることを共有することで未然防止に努めた。不祥事防止研修で定期的にハラスメントについて扱い、当事者意識を持つよう努めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組む。	職員間での気づきや、サポートドックの結果など、情報を多方面から入手し、問題がないか検証するとともに、校内の安全点検を行って未然防止に努めた。また、不祥事防止研修を実施して職員の意識を高めた。
体罰・不適切な指導の防止	教育者としての自覚を持ち、生徒の人権を尊重し、体罰・不適切な発言指導を未然に防止する。	啓発資料を活用した不祥事防止研修を実施し、生徒理解を深めながら生徒の人権に配慮し、尊重した指導を行うよう意識を高めた。
入学者選抜、成績処理等の適切な事務処理	入学者選抜に係るデータ管理及び成績処理や調査書作成等での事故を未然に防止する。	マニュアルに従って手順とチェック体制を遵守して事故を未然に防ぐとともに、情報の扱いについて職員の意識向上を図った。また、余裕をもって成績処理等に携われるよう日程調整について配慮した。
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	情報の管理方法を確認し、個人情報の流失を未然に防止する。	不祥事防止研修を実施し、職員の意識を高めるとともにガイドラインに従って適切に扱うよう努めた。
財務事務等の適正執行	財務事務をルールに従って厳正に行う。	私費について、私費会計事務処理の手引きに従って適正に、かつ迅速に処理を行うことができた。

○ 令和７年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

おおむね目標を達成することができた。ただ、個別には慣れからくるヒヤリ・ハットの事例が生じており、今後も常に不祥事防止に対する意識を継続、高めていけるような研修の機会が必要である。職員室の風通しはよく、職員同士のコミュニケーションが良くとれていることから、お互いに注意喚起しながら未然防止を意識するよう、職場環境を向上させたい。